



議会だより

第163号

かみみね



上峰小学校 体育大会

平成24年 9 月定例会

◎議案審議 P 2～6
◎議案賛否表 P 6
◎平成24年度補正予算 P 7

◎一般質問 P 8～15
◎議会活動 P 16～18

上峰町ホームページ : <http://www.town.kamimine.lg.jp/>

発行 上峰町議会

〒849-0123 上峰町大字坊所383-1

人口 9555人 男 4563人

【9月末現在】 女 4992人

平成24年10月25日発行

☎0952(52)2184

編集 議会広報編集委員会

印刷 (株)音成印刷

を可決・承認しました!

平成24年第3回定例会は9月7日から9月14日まで開催しました。
32号議案から51号議案まで、専決処分報告の承認、条例改正、補正予算、人事案件など慎重に審議し、原案通り可決しました。なお42号議案から46号議案までは、閉会中の継続審査とし決算特別委員会で審議することとしました。

上峰町個人情報保護条例の一部を改正する条例

児童虐待の防止等を図り、児童の権利利益を擁護する観点から、親権の停止制度を新設し、法人又は複数の未成年後見人を選任することができるようにすること等の措置を講ずるため、改正するものです。

(全員賛成)

上峰町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

白血病等の有効な治療法である移植療法のドナーとなる場合に取得可能な特別休暇について、骨髄移植を提供する場合に加え、末梢血管細胞を提供する場合にも休暇を取得できるようにするものです。

(全員賛成)

上峰町防災会議条例の一部を改正する条例

防災会議の委員に「自主防災組織を構成する者又は学識経験のある者のうちから町長が任命する者」を加えるものです。

(全員賛成)

上峰町災害対策本部条例の一部を改正する条例

災害対策基本法の改正に伴い、町条例を改正するものです。

(全員賛成)

動産の買い入れについて

消防団の消防自動車3台を、老朽化に伴い更新するものです。

(全員賛成)

決算特別委員会への付託事項

- 平成23年度上峰町一般会計歳入歳出決算認定について
- 平成23年度上峰町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成23年度上峰町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成23年度上峰町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成23年度上峰町農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について

補正予算など15議案

上峰町固定資産評価審査委員会委員の選任について



氏名 平井 忠義
生年月日 昭和12年12月22日
住所 坊所新村
任期 平成24年12月21日から
平成27年12月20日まで
※任期満了に伴う再任です。

(全員同意)

上峰町教育委員会委員の選任について



氏名 時津 昌昭
生年月日 昭和16年9月8日
住所 井手口(住宅地区)
任期 平成24年10月14日から
平成28年10月13日まで
※任期満了に伴う再任です。

(全員同意)



氏名 馬場 紘彦
生年月日 昭和14年4月22日
住所 東前牟田
任期 平成24年10月27日から
平成28年10月26日まで
※前任者の任期満了に伴う新任です。

(全員同意)

請願審査報告

委員長報告第4号

振興常任委員会 委員長 岡 光 廣

件名

請願第3号 町道八枚坊所新村線の道路補修工事について
採択とすべきもの

主な意見

現地調査の結果、町道八枚坊所新村線の全域において、路面の損傷が著しく、地盤の沈下も見受けられる。

また、当該路線と接続する町道前牟田南北線についても同様の状態にあるため、この2路線は町の主要路線として、一体的に改良を図ることが有効である。

なお、事業実施に際しては社会資本整備総合交付金等を活用し、計画的に事業を推進すべきである。

(全員賛成)



振興常任委員会による現地調査

意見書

国立病院の廃止・縮小・民営化に反対し、地域医療と国立病院の充実を求める意見書

提出者 総務厚生常任委員長 碓 勝 征
(全員賛成)

国立病院は、がん・脳卒中・心疾患などの高度医療の実施とともに、結核、重度心身障害児(者)や筋ジストロフィー・神経難病、災害医療、へき地医療など、民間では困難な分野を担い、地域医療においても重要な役割を果たしています。

政府は、国立高度専門医療センターを2010年4月に非公務員型独立法人化しました。また、国立病院機構14病院すべての独立行政法人を廃止・民営化・民間委託の対象として今年1月20日の閣議で決定しました。

しかし、国民医療の現状は、医師・看護師不足による診療科・病院の閉鎖、公

地域医療と国立病院の充実について、左記の事項を要望いたします。

記

1. 国立病院の廃止・縮小民営化を行わないこと。
2. 地域の実情と地域住民の要望に応じて、東佐賀病院の機能強化を図ること。
3. 医療の複雑高度化に対応し、安全で行届いた医療・看護を提供するため、国立病院の医師・看護師をはじめ必要な人員を確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

意見書提出先

内閣総理大臣

野田 佳彦様

厚生労働大臣

小宮山洋子様

財務大臣

安倍 淳様

総務大臣

川端 達夫様



北朝鮮による日本人拉致問題解決を求める意見書

提出者 総務厚生常任委員長 碓 勝 征
(全員賛成)

平成14年、北朝鮮は日本人の拉致を認めて5人の被害者を返しました。

をあげることができていない。

しかし、それ以降、5人の被害者の家族の帰還以外全く進展は無い。北朝鮮の地で我が国からの救いの手を待っている被害者らの苦しみと日本の地で帰りを待つ家族の苦痛は筆舌に尽くし難く、更に10年の歳月が経過しました。

政府は、現在17人を北朝鮮による拉致被害者として認定している。それ以外に、いわゆる特定失踪者を含む多くの未認定被害者が確実に存在します。

このことは政府も認めている事実です。

平成18年以降、政府は首相を本部長とする対策本部を作り、担当大臣を任命して被害者救出に取り組んでいるが、未だに具体的成果

あることは言うまでもありません。今年を勝負の年として、全精力を傾けて全ての拉致被害者を早急に救出するよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

意見書提出先

内閣総理大臣

野田 佳彦様

衆議院議長 横路 孝弘様

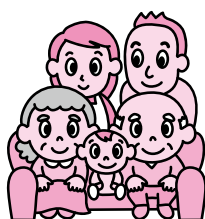
参議院議長 平田 健二様

法務大臣 滝 実様

外務大臣 玄葉光一郎様

拉致問題担当大臣

松原 仁様



地方財政の充実・強化を求める意見書

(全員賛成)

提出者 総務厚生常任委員長 碓 勝 征

地方財政の充実・強化のため、2013年度の地方財政予算全体の安定確保に向けて、政府に次のとおり対策を求めます。

記

1. 被災自治体に対する復興費については、国の責任において確保し、自治体の財政が悪化しないよう各種施策を十分に講ずること。また、復旧・復興に要する地方負担分は、通常の予算とは別に計上すること。

意見書提出先

内閣総理大臣

2. 医療・介護、子育て支援分野の人材確保など、

内閣官房長官

藤村 修様

総務大臣 川端 達夫様

財務大臣 安住 淳様

内閣府特命担当大臣

(経済財政政策担当)

古川 元久様

経済産業大臣

枝野 幸男様

地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

(全員賛成)

提出者 総務厚生常任委員長 碓 勝 征

地球温暖化防止のための温室効果ガス削減は、我が国のみならず地球規模の重要な課題となっており、森林の持つ地球環境保護、国土の保全、水資源の涵養、自然環境の保持など「森林の公益的機能」に対する国民の関心と期待は大きくなっている。

このような中、「地球温暖化対策のための税」が平成24年10月に導入される一方、「森林吸収源対策などの地球温暖化対策に関する地方の財源確保」については、「平成24年度税制改正大綱」において、「平成25年度実施に向けた成案を得るべく更に検討を進める」とされている。

意見書提出先

内閣総理大臣

衆議院議長 横路 孝弘様

参議院議長 平田 健二様

財務大臣 安住 淳様

総務大臣 川端 達夫様

国家戦略担当大臣

古川 元久様

農林水産大臣

郡司 彰様

環境大臣 細野 豪志様

経済産業大臣

枝野 幸男様

記

よって、左記事項の実現を強く求めるものである。

二酸化炭素吸収源として

農業体質強化基盤整備促進事業の継続・予算の確保を求める意見書

(全員賛成)

提出者 振興常任委員長 岡 光 廣

現在わが国の農業は、担い手不足の深刻化や農業従事者の高齢化といった厳しい状況に直面し、活力は低下の一途をたどりつつあります。

このような厳しい現状の中においても農業に希望を見出し、安心・安全な農産物を国内外に供給すべく日々努力されておられる農業従事者もおられます。

また、水田農業が優先されるため、麦や大豆の自給力向上につながらず、野菜、畜産など多様な農業発展に支障を及ぼしかねません。

意見書提出先

内閣総理大臣

衆議院議長 横路 孝弘様

参議院議長 平田 健二様

総務大臣 川端 達夫様

財務大臣 安住 淳様

農林水産大臣

郡司 彰様

環境大臣 細野 豪志様

経済産業大臣

枝野 幸男様

記

よって、国におかれましては、予算削減されております農業体質強化基盤整備促進事業において、事業の継続及び予算の確保をされますよう強く要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

皆さんとの交流の中から町の将来を考える

議長あひさつ



議長 大川 隆城

長く続いてきた厳しい暑さも、幾つかの台風の通過を経て、朝・晩は随分涼しくなりました。稲刈りも始まり、実りの秋本番を迎えようとしています。

今年は台風の発生が例年より多く、しかもビックリするような大型が幾つもありましたが、たいした影響もなくあらためて住みよい地域であることを実感しました。

さて、9月定例会も行政全般にわたる一般質問、議案審議と論戦が交わされ、その中で来年3月には町長選挙が控えているのを受けて、町長に対し2期目出馬への質問が目につきました。定例会閉会后、平成23年度決算特別委員会が3日間開催され、予算執行状況を詳細に慎重審議

いたしました。とにかく9月は他の行事も多くあり、忙しい月でありました。

また町内の各団体との意見交換会の実施にも取り組んでいます。9月定例会前に町商工会役員の皆様と、町の活性化に向けて鎮西山桜まつり・町民祭等のイベント実施、企業誘致を含めたの商工振興について意見交換を行いました。

定例会後には、区長会の皆様と意見交換会を実施しました。町として北部を工業地域、中部を商業地域、南部を農業地域としており、それぞれの地域での振興策、また町村合併のこと、そして各地域の課題等について議論させて頂きました。

財政面では、まだまだ厳しいものがありますが、町民の皆様との交流の中で様々なご意見をいただき、一体となって町の将来を考えることが大切です。

今後も機会あるごとに各団体との交流を通じて、勉強させて頂き、努力を重ねて参りたいと思います。

平成24年 第3回定例会 議案賛否表

議案番号	件名	採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			原田 希	寺崎 太彦	橋本 重雄	碓 勝征	林 眞敏	松田 俊和	岡 光廣	吉富 隆	中山 五雄
32	専決処分の承認を求めることについて (平成24年度上峰町一般会計補正予算(専決第1号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	上峰町個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	上峰町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	上峰町防災会議条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	上峰町災害対策本部条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	平成24年度上峰町一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	平成24年度上峰町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	平成24年度上峰町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	平成24年度上峰町土地取得特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	平成24年度上峰町農業集落排水特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	上峰町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	上峰町教育委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	上峰町教育委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	動産の買入れについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	平成24年度上峰町一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	国立病院の廃止・縮小・民営化に反対し、地域医療と国立病院の充実を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	北朝鮮による日本人拉致問題解決を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	地方財政の充実・強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	農業体質強化基盤整備促進事業の継続・予算の確保を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	請願「町道八枚坊所新村線の道路補修工事について」(採択)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成24年度

補正予算

一般会計

1億7,114万9千円増額して

総額36億2,437万9千円となる
補正予算の主なものは…

歳入（増額のみ）

◎財政調整基金繰入金……………1,452万9千円

◎県補助金

・緊急雇用創出基金事業補助金

……………2,236万6千円

・住宅リフォーム助成事業補助金

……………1,153万6千円

◎前年度からの繰越金……………1億3,859万1千円

◎前年度介護保険負担金精算金

……………715万8千円

歳出（増額のみ）

◎法人町民税還付金……………1,052万9千円

◎減債基金積立金……………1,000万円

◎ポリオ予防接種委託料……………351万9千円

◎幹線水路水草等除去事業費……………470万円

◎町情報発信ラジオ放送事業費

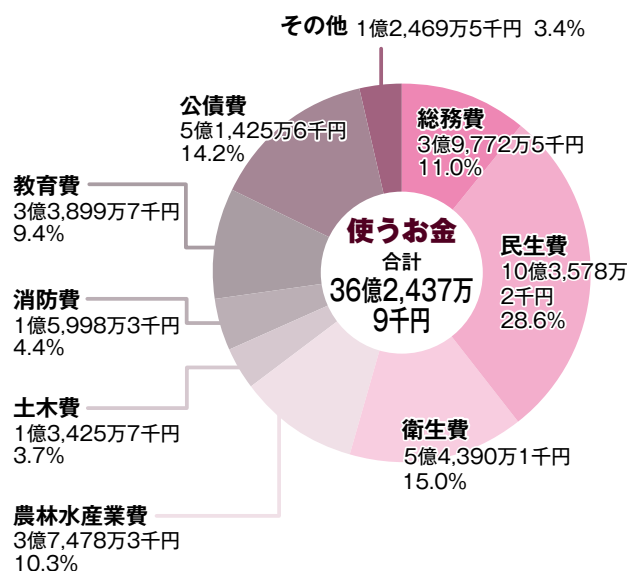
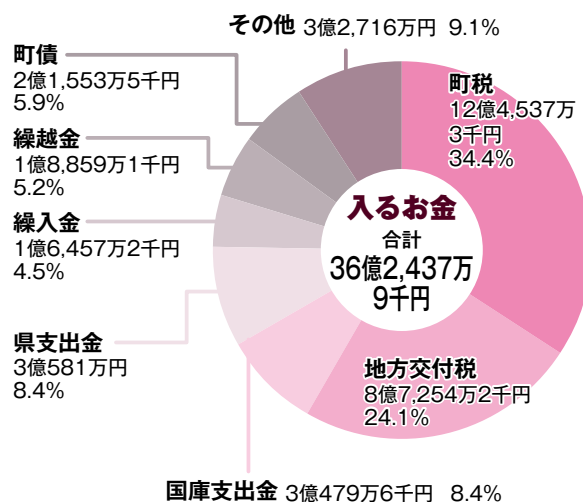
……………673万6千円

◎町道補修費用……………510万円

◎住宅リフォーム補助金……………1,120万円

◎災害復旧設計書作成委託料等……………400万円

本会期までの累計



※町債とは借入金、公債費とは借入金の返済金です。
※国・県支出金は補助金です。

特別会計

国民健康保険特別会計

8,051万1千円を増額し、10億2,610万9千円となる

後期高齢者医療特別会計

236万4千円を増額し、9,154万4千円となる

土地取得特別会計

302万8千円を増額し、304万2千円となる

農業集落排水特別会計

2億833万7千円を減額し、6億1,835万7千円となる

一般質問



そこが聞きたい



小学校給食(室)の現状は

答 現状の形態がやむを得ない

議員

部外委託後の給食室の維持管理はどのように行っているか。

小野教育課長

給食室全体を年2回の害虫駆除、また配膳員により給食室及び給食受入箇所

の清掃により管理している。議員

議員

給食が再開された場合について、今ある給食棟・備

品類はこれから先どのような形としてしているのか。

小野教育課長

民間委託した状態のまま現存しており、備品・建物についても耐用年数が過ぎ、使用はできないだろうと思う。

議員

部外委託満了後の給食のあり方についてはどのように考えているか。

小野教育課長

以前のようなセンター方式に戻すのは困難であり、現在の形態を続けていかなければならないと考えている。



林 眞敏 議員

議員

食というものは育むということ。このあり方について教育・給食に携わる方々は考えていただきたい。

防災備蓄は

答 逐次、備蓄態勢を整備

議員

用品・生活必需品等の備蓄計画はどのようなものか。

池田総務課長

今年度、アルファ米・乾パン・保存水の予算化をしたところで、トイレットペーパー等の防災用品についても、5年計画で備蓄していく予定。

議員

当町の災害備蓄対応については、どのような考えを持っているか。

池田総務課長

備蓄用品は避難場所に近くあるのが良いと思っているが、場所については、これから徐々に取り組んでい



学校給食センター

かなければならないと思っている。議員

議員

地域防災対策の現状と認識についてはどのように思っているか。

池田総務課長

ハード面についての防災行政無線の整備、ソフト面の自主防災組織の設立に向けた取り組みがなされ、逐次改善がなされてきている。



防災備蓄食料品

小学校管理駐車場のその後は

答 諸般の状況により延期

議員

8月31日までとは、どういう根拠のもとに発言したのか。

吉田教育長

正門の開閉扉の完成見通しが夏休み中であつたから、そのように伝えた。

議員

小学校だより「鎮西山」の中に「校内への自家用車乗り入れ禁止」「校内への乗り入れはしないでください」。

このことは学校管理者の切実な願いだ。

これから先も、子ども達の安全確保には目を光らせていきたい。



新設された小学校正門門扉

議員

井手口地区懇談会での教育長の公約(保育園保護者の小学校校駐車場使用)はどのようなものか。

吉田教育長

8月31日を目安として使用禁止を伝えたところだが、先方の都合もあつて、現段階では12月末までというのが現状。

ほかに
○町長の公約実現について

新地下水水位制御システム事業『フォアス』の取組内容は

【答】 先行の九丁分地区事業は、国100%補助で、町発注

議員

この事業の特徴は、水管理（節水）がよく、田（米麦）作りと野菜作りができるという田畑輪換可能、これからの農業振興に大いに貢献できる事業である。先行された八枚・九丁分地区の事業内容は。

江崎振興課長

八枚地区事業は、平成17年11月に水稲じきまきに関係が深い農研機構とKKパディ研究所で共同開発された『フォアス』のPR試験田として施行された。対象面積は3300㎡。

九丁分地区事業は、平成21年9月に町が発注。受注者はKKパディ研究所。下請業者はなし。全額国の補助金。対象面積20420㎡。契約額495万6千円。

議員

本年度の『フォアス事業』は2億円の予算がついており、対象面積135haである。次年度の事業要望額は、3億5千万円である。

先日町長等と議会で、この『フォアス事業』については、非常に事業効果

が高く、内外より注目されている。

九丁分地区の事業は、町の発注ということだが、今年度の発注形態は「町」か「土地改良区」か、いずれなのか。事業発注する際には、指名業者等も広く取り扱いし、有資格者等の選定もしっかりと行なう。また、公平・平等で疑惑なきように、指名入札等実行してもらいたい。

江崎振興課長

今年度の『フォアス事業』発注主体は、三養基西部土地改良区となっている。また、発注方法等は、当初土地改良区との協議の中で、土地改良区の中では、入札契約等の、町と同様の規則条例等がないので、町の規則条例等の形式で発注することに指導・協議済み。

議員

発注形態は、土地改良区とのこと。課長が答弁したとおり、町の規則等に準じて発注するように、指

導・協議済みのようだ。

先に言ったとおり、この『フォアス事業』は、内外から非常に注目されているので、担当課として規則等の整備をなし、土地改良区への指導をしていただきたい。

田畑輪換が簡単



議員

【答】 町民の皆様のご意向・後援会のご判断をおおきたい

残任期間6カ月になり、次期町長選へ引き続き、町政を担当し、出馬する気持ちはあるのか。

町民の信託・付託を受けた町長として、公約実現度合いについては、同僚議員への答弁にあったように達成率80%、つまり残した公約を仕上げるべきと思うが。

借金返済についても、町長はじめ職員ともども努力されている。

財政も好転してきている状況であるが、それらを含めて気持ちをうかがいたい。武蔵町長

今現在は、平成24年度の上半期の状況を見るまでは何も申し上げられないが、まずは平成23年度の決算状況を、議会で議論のうえ認定していただきたい。

この4年間取り組んできたことなどをみると、今後4年間は財政を取り巻く状

次期町長選 出馬の意向は

況や施策を実行する外部の環境も大きく変化すると思う。

町民の皆様のご意向、また後援会においては、私の意向を伝えたいので、しっかり判断していただき、公私別して考えていきたい。



ほかに

○都紀女加王御陵と御陵公園について

○交通安全について



原田 希 議員

ビジョン検討委員会の中身は

【答】 計7回の会議を実施

議員

鳥栖・三養基ビジョン検討委員会の会議の中身は、北島企画課長

5月29日の第1回会議から計7回の会議を行っている。

第1回

①会の名称について。②会則について。③委員長、副委員長について。④スケジュールについて。中間報告を10月上旬、最終報告会を12月中旬に予定している。

⑤開催の目安。月2回を目安に開催予定。

第2回・第3回

①地域の将来像とその理由。②本編目次について。検討会で検討し書類的に製作す

る必要があるので、前文、

現状、ビジョンと大きく3つに分類して作るという話になっている。

第4回・第5回

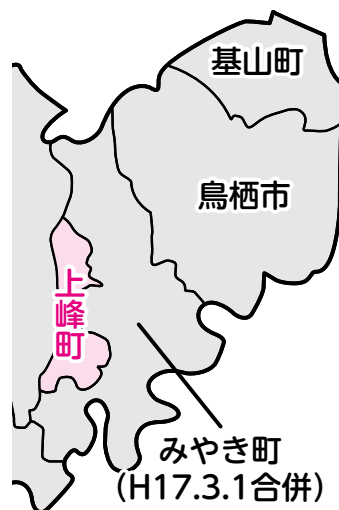
①地域の将来像及び各自治体の役割、町づくり宣言、将来都市像について。②各種調査について。各自治体

の紹介、連携事業の内容、特色ある事業、公共施設の配置状況などの調査。③各自治体の住民満足度調査の結果。住民に対し行政サー

ビスに対する満足度を調査したものがあれば、それを出し合い検討しようということになっている。

第6回

①各種調査について。②首



長インタビュー項目。検討

会の中で検討+首長さんの考えをインタビュー形式で

聞くということになっている。③本文割り当てについて。上峰町は、地域内の公

共施設の設置状況、観光地、伝統芸能や史跡等の状況について担当することになっ

ている。

第7回

①首長インタビューについて。②本文割り当てについて。第6回で割り当てがあった部分の、原案の原案ぐらいの、各町からの報告があつて

議員

ざつと説明をいただいたが、将来像や自治体の役割、連携事業の内容等の具体的な議論はされているか。

北島企画課長

第7回までの会議では、具体的な連携等の検討は

やっているが、具体的にこの項目についてどうするか、という話にはなっていない。

議員

町民アンケート調査はいつ頃の予定か。

武蔵町長

ビジョン検討会終了後、

1市3町の動向等を踏まえながら、これからの自治体規模調査ということで行う自治体規模のあり方について町民の皆様が考える機会として最適だと思える時期

に行うことが、アンケート

の趣旨からしても一番必要だと思ふ。ビジョン検討委員会

の動向後、判断していきたいと思つて

変則五差路の進捗は

【答】 交通量調査を実施

議員

変則五差路は、通学路として毎日使われている。請

願が採択されたが、その後の進捗は。

江崎振興課長

今年度予算において、三

上地区の総合的な道路網を構築するため、道路概略設計委託業務としてコンサル

タントに発注している。この中に、交差点部分の改良構想も含めており、交通安全対策を柱に業者が提案す

る。複数のプランが出てきて

議員

三上地区の総合的な計画に、この五差

路も含まれるということだが、大規模な計画になると思

う。交通安全を柱と

いうことだが、コスト面等を考えた場合に、この程度で止めておこうということにはならないか。

江崎振興課長

今3タイプほどの案が出

ているが、今後、交通量調査を実施し、その調査に基づき、どの路線を主とする

かを決めていく。それによ

り、今後のプランがまたいくつ出ると思うが、極端に言うとう用地費だけでなく

家屋補償等も出る恐れがある。あくまでも交通安全を重視しながら、財政的なものも併せながら、最良のプランを確立していきたいと思



改良が待たれる変則五差路（中学校南）

環境面の充実

答 土地改良区と協議する

議員

米多地区の下水道処理場周辺の排水の徹底についてうかがう。

江崎振興課長

当地区の基幹的排水系統は、県管理の勘太郎川であり、当川までの排水路の浚渫及びのり面の整備を9月議会で補正予算を計上している。

議員

勘太郎川への当地区から流れ込む水門は、中小14カ所設置されているが、現在完全に開閉できる門は、いくつあるか把握しているか。

江崎振興課長

現在、私としては把握していない。

議員

水門の開閉が完全にできない門は、ほとんどない。この状態で、前牟田下水処理場周辺は、風の向き次第で排水路内の水の臭いが地区内に流れ込んでいるが、行政側の処置はどうか。

江崎振興課長

早速三養基西部土地改良区と調査し、協議していきたいと思う。

武廣町長

直ちに調査したうえで、土地改良区と協議が必要だと考えている。

議員

地区の充実度を図るため、今後より一層の協議を要望する。

消防団第1部格納庫所在地変更は

答 移転に向けて取り組む

議員

第1部格納庫は年に3、4回大水で浸水し、非常事態時の出動ができない状態だが、いかに考えているか。

池田総務課長

現在地のままにしておくというのは本当に無理だと

思うので、関係区長と協議し、格納庫の移転に向けて取り組んでいく。

議員

大水はいつ襲来するか判らない。早急なる解決を再度要望する。

子育て支援の充実

答 様々な事例を参考に進める



議員

放課後児童クラブの今後の考え方は。

小野教育課長

学童クラブは、現在80名ほどの児童を2クラブで預かっていて、今後もこの形態で続けていきたい。

議員

開設時間の延長を図ってもらいたい。

小野教育課長

学童保育の延長をするか否かということについては、現在考えていない。

議員

上峰町は、人口1万人を目標にしている。あと約500人をいかに増やすかが課題であり、それには子育て世代を上峰町に呼び込める施策が必要ではないか。

小野教育課長

人口増に少しでも繋がれば、学童保育を実施するかもしれないと思う。

さまざまな事例を参考にしながら、今後進めていく。

松田 俊和 議員



吉富 隆 議員

PFI事業導入は

答 今後検討する

議員

町の振興対策として
PFI事業の導入の考えは
ないか。

武廣町長

PFI事業については、
初期投資が不要で、財政支
出の平準化が可能となる。
また計画・設計・工事監理

等の事務量が軽減され、さ
らに土地・建物が個人また
は法人所有となり、固定資
産税の収入を見込むことが
できる。

今後はPFI事業を含め
た官民連携の分野について
さらに理解を深め、今後検
討したい。

PFIとは

公共サービスの提供に際して、民間資金を利用し
て民間に施設整備と公共サービスの提供をゆだねる
手法をいう。

今後の農業について町長の考えは

答 排水機の設置を検討

議員

今年7月の大雨による農
作物の被害について、町長
の考えを問う。

江崎振興課長

7月12日から14日までの
3日間、大字坊所・前牟田・
江迎の圃場275ヘクタールが
冠水した。

冠水での被害報告を8月
17日付で、県に報告した。

今後の状況を見ながら対策
を考える。

議員

今後、大雨による被害が
ないように、排水機設置等
の対策を強く要望する。

武廣町長

排水機設置については、
農業振興会議の中で協議し、
対策を考えていく。

町の財政状況は

答 実質公債費比率を18%以下に

議員

町財政の将来的な展望を
どのように考えているか。

目下最大の目標としては、
実質公債費比率を18%以下
に抑えることだと考えてい
る。

早期健全化判断比率のひ
とつである将来負担比率に
ついて、平成19年度におい
て、21%という高い比率で
あったものが、平成23年度
には113・9%まで下がった
ことは、一定の評価をされ

議員

今後、町の財政について
は、町長・職員が一丸となっ
て財政健全化に向けて努力
していただきたい。

財政健全化判断比率の比較

	実質公債費比率	将来負担比率
平成23年度	21.2%	113.9%
平成22年度	21.7%	141.6%
平成21年度	22.8%	155.4%
平成20年度	23.7%	191.4%
平成19年度	23.3%	211.0%



7月の大雨で冠水した水田（大字江迎）

消防団第1部格納庫の浸水対策は

【答】
移転を考える



大雨時の消防団第1部格納庫

議員

7月の大雨時、第1部の格納庫が床下浸水したが、対策はどうか。

池田総務課長

水が引いてから、格納庫の床の一部を切り取り、床下に溜まった水を排出し、その後、消毒を実施した。抜本的な対策としては、格納庫の移転も検討する。



寺崎 太彦 議員

議員

第3部では、火災時、スマートフォンを使い、団員同士の情報の共有化をしているが、行政も考えてみてはどうか。

池田総務課長

消防署では、デジタル無線を検討されていて、将来は、スマートフォン等に配信できるものと思う。

ひよこ保育園の契約は

【答】
現状維持での契約

議員

ひよこ保育園の契約を更新したが、どのような契約なのか。

江頭住民課長

国庫補助金を使い建設していて、補助金等に係わる予算の執行の適正化に関する法律第22条、財産の処分

の制限により徴収できない。町の導入タイプは、場所にあった工法で、水位管理

器無しタイプ。フォアスは、地下水位を田面を基準にプラス20cm〜マイナス30cmの任意に水位を設定でき、これはどのタイプでも水位の調整はできる。

議員

フォアス導入後、農業が産業としてやっていけるように、将来的に六次産業化を目指してもらいたい。

議員

平成15年3月に1億6千万円かけ、改修したばかりで、町も財政が厳しいので、建物使用料を取るべきでは



フォアス導入後は

【答】
生産性・収益の向上

議員

今年から、フォアスの工事が始まるが、どのような工事か。

江崎振興課長

フォアスは、ブルドーザーを使った、ベストドレーン工法と、ユニボの

アームを使った、アーム式ベストドレーン工法があり、水位管理の有り無しの合計4タイプある。

町の導入タイプは、場所にあった工法で、水位管理器無しタイプ。フォアスは、地下水位を田面を基準にプラス20cm〜マイナス30cmの任意に水位を設定でき、これはどのタイプでも水位の調整はできる。

議員

フォアス導入後、農業が産業としてやっていけるように、将来的に六次産業化を目指してもらいたい。

議員

フォアス導入後、野菜・大豆等作付けを増やす考えはあるのか。

ほかに

○町の情報発信について

江崎振興課長



岡 光廣 議員

合併・住民意識調査実施時期は

答 環境ができた際行うのがよい

議員

町村合併・住民アンケートの時期は。

武廣町長

合併について町民の全権委任を受けているわけではない。自治体規模調査を行っていないので、枠組み等も含めて、これまで発言してこなかった。重要案件でもあり、住民アンケートを行いながら、合併規模の調査を行い、各地区説明等を行いながら、進めていきたいと思っている。

議員

アンケート調査について、内部協議が必要と回答をしていたが、協議は行ったか。

武廣町長

町村合併について、町民の皆さんに示す時期は、町長の任期中にする考えは。一番真剣に考えられる環

境ができた際、行うのがふさわしいと思っている。

町づくりの計画は

答 話し合つ中で決める

議員

町人口、1万人達成への方策について。

武廣町長

人口増を図るためには、インフラ整備を活用したソフト事業を一つ一つ細かく拡充延伸していく必要があると考えている。

三上・西峰地区は、今も住宅が増えているが、これまで住宅地として期待し、道路整備をしてきた。今後は、三上・西峰全体の道路を考えて、作ってい

く必要があると思う。他地域の住宅地開発は、考える時期ですが、農業振興も含めて農地を守る立場でもあり、今後、受益地になっているエリアを住宅地に考えるのは、いかなものかと思う。「自分たちの町を自分たちでつくる」ことについては、議会と行政で話し合う中で決められるもの、という考えで扱っていきたいと思う。

住環境整備計画は

答 計画的に進める

議員

道路整備計画の進捗状況と計画は。

江崎振興課長

堤地区1号線・2号線は3カ年計画で舗装する計画。(平成24年度から延長合計1600m)

三上・西峰地区内の道路整備に関する請願は予算化して、道路概略設計業務委託を発注している。今後この成果品をもとに、道路整備計画を作成していく。

議員

西峰東西2号線の、工事完了後の整備効果と今後の計画は。

議員

武廣町長
都市計画マスタープランに基づき、財政状況が見通せる状況の中で、展望をしつかり持ちながら、西峰地区の住宅整備を進めていきたいと思う。

議員
坊所地区、汚水処理場の機能強化基盤整備促進事業の今後の計画は。

江崎振興課長
地域自主戦略交付金事業として、平成24年度に既設処理場の機械の更新及び管路施設工事。平成25・26年度に処理施設の増設分の工事。平成27年度に残工事と既設の機能強化調整を行っていく計画。



ほかに

○地域再生の振興策
農業体質強化基盤整備促進事業の今後の計画について

各課の業務遂行状況は

答 課員協力し職務を遂行

議員

各課の業務は現状のまま

で良いのか、改革するべき
なのか、全課長に質問する。

池田総務課長

現状のままで良いと思う。

職員間の意思疎通を図り、
事務改善に努めている。

議員

総務課は行政のトップで
あるので、各課の課長と一
丸となって考え、知恵を出
し合い働いていくべきだ。
また総務課長として、全般
的なことで今後どのような
対応をしていくのか。

池田総務課長

町長と協議をし、一緒に

討議していく必要はあると
思う。

北島企画課長

現状のままでよい。改革
も、今の町長になって数種
類実行している。

議員

今の財政を預かっている

のは企画課であり歳入歳出
の対応考えは。

北島企画課長

収入を得た中で借金を返
済し、新たな事業を負担に
ならないような形で、計画
的に実行し、将来に向けて
の基金も積み立てていく考
えである。

白濱税務課長

徴税吏員であり、職員が

町民のため無駄なく効率的
に対処すること、現状に
満足することなく、推し進
めることが大事だと考える。

議員

いくらかは改善されてき
ていると思うが、滞納者は
ゼロにはならないと思う。

不納欠損にならないように
今後も努力をしてもらいた
い。

江頭住民課長

改革すべきは、人員増に
よる業務の細分化、住民
サービスの向上を図ること
だと考える。

岡健康福祉課長

財政的にも厳
しい状況の中で、
職員一同サービ
ス低下にならな
いよう努力しな
がら遂行しなけ
ればならない。

議員

高齢者の人た
ちが健康で長生
きできるよう、
満足できるよう
対応を頑張っ
ていきたい。



中山 五雄 議員



健康福祉課での窓口対応

財政の健全化は

答 実質公債費比率18%を下回るよう努力

議員

今上峰町が一番取り上げ
てやらないといけないの
は、財政の健全化と思うが、
今後町長の対応考えは。

学校現場と教育委員会・
教育事務等のかけはしとな
る指導主事を置きたい。

小野教育課長

社会教育主事の資格を
もった職員の配置を希望し
たいと思う。

福島生涯学習課長

健康福祉課長

江崎振興課長

武蔵町長

健全化判断比率の上振れ
を防ぎ、下限に低下させ、
実質公債費比率が18%を下
回るよう努力し、財政健全
化と住民サービスの延伸拡
充に努めていく。

実質公債費比率とは

自治体の収入に対する負債返済の割合を示すもの。

通常、3年間の平均値を使用する。18%以上だと、
新たな借金をするために国や県の許可が必要。25%
以上だと借金を制限される。

起債(借金)及び 債務負担行為の状況

一般会計における起債	
○未償還元金	
・ H23年度末	4,715,589千円
○未償還利息	
・ H23年度末	511,382千円
農業集落排水特別会計における起債	
○未償還元金	
・ H23年度末	4,738,530千円
○未償還利息	
・ H23年度末	786,987千円
債務負担行為	
・ H23年度末	717,532千円

常任委員会合同研修報告

平成24年10月16日から18日の日程で、山口県宇部市及び和木町へ総務厚生常任委員会と振興常任委員会合同での視察研修を行いました。

研修目的は、『山口県内のフォアス普及状況・フォアスを活用した農業経営』及び『議会基本条例に基づく議会活動』・『学校給食無料化の取り組み』であり、それぞれの町の現状を把握すると共に、真剣に取り組むについて学びました。

宇部市

『特定農業法人アグリ楠』

研修先は、山間の狭隘な地域ではあるが、地域の農業を守るために、県の指導をうけつつ、「周年生産につながるのであれば、法人経営も安定するのではないか」と魅力を感じ、フォアス導入を行ったとのことであった。

フォアスシステムを導入している『アグリ楠』は決して大きいとは思われなかったが、事業の将来を見据えて、どのようにしようかという意気込みと、補助事業としてではなく独立法人化しようとした社長の意気込みも十分に感じ取る事が出来た。

和木町議会

山口県の最東部に位置し面積・人口ともに、上峰町に比較するとやや小さく少ない町ではあるが、財政力豊かな町であった。

今回の研修テーマは標題にも記載したとおり、議会基本条例作成についての考え方と当町との違い、また和木町の特徴などについて意見を交わすためのものとした。

和木町の「基本条例の特徴」として特筆すべきは、『町づくり懇談会』及び『反問権』の条項の設

た社長の意気込みも十分に感じ取る事が出来た。

研修の途中、若者2名の労働の姿を垣間見ることが出来、声を掛けると元気な声が返ってきた。

この姿を見るに、活性化がはかれ、これでこの事業にかけやる気を感じ取ることができた。

畑においては、「万倉（まぐら）ナス」と呼ばれる作物（収穫時期は過ぎていたが）が二本位栽培、また「ハナッコリー」（ブロッコリーとの掛け合わせ作物）畑でも労働している女性の姿があり、ここでも活気のある事業であることを確認することとなった。今回の

定（ただし反問権についてはまだ行使されていないとのこと）また議会の内容をケーブルテレビで放映しているということであった。

基本条例の策定にあたっては、当町と同じく3年間という長期にわたって論議を重ねられ、種々の問題点を逐次解決して、平成22年9月に議会において可決、即日公布ということであった。

もう一つのテーマ、学校給食無料化への取り組みについては、和木町の学校給食は、昭和22年ごろから開始された。給食費は当初より無料化しているとのことであった。

議会活動

「アグリ楠」の営農を、上峰において実現することは別にしても、農業経営にフォアスシステムが大きな転機になったことは間違いないようである。



無料化の始まりは、大企業の税金により始まり、現在では『子育て支援の一環として、保護者の負担軽減を図る』ということ、現在も継続されています。



東串良町議会議員の研修受け入れ

上峰町議会は、8月23日（木）鹿児島県東串良町議会議員（11名）の研修受け入れを行いました。

研修の主な内容は、「議会基本条例を制定するに至った経緯」「議会基本条例制定後の議会活動」および「議会だよりの編集について」であり、正・副議長、総務厚生常任委員長と振興常任委員長及び広報委員長5名の議員が対応致しました。



陳情報告

平成24年7月17日～19日

平成24年7月17日から19日の3日間、議会・行政が一体となり「フォアス」、「クリーク防災」及び「消防ポンプ車の導入」等の補助事業の採択に向け、内閣府・農林水産省・防衛省へ陳情を行いました。

また、「切通交差点改良」、「企業誘致」等の要望活動を、国土交通省・佐賀県官営本部へ行いました。



国土交通省にて大臣政務官への陳情

各団体との意見交換会

上峰町議会は、8月30日（木）上峰町商工会役員11名との懇談会を実施しました。

懇談内容は下記の通りでありました。

○鎮西山さくら祭の開催について

○町内企業誘致計画について

▽今後の企業誘致計画について

▽誘致企業の町内発注について

○その他商工会からの要望事項として

▽商工会への補助金増額等

○上峰町における市町村合併の動向について

の項目について、商工会々長の司会のもと会員・議会議員双方が積極的に発言し、要望事項は要望として会員及び議員とともに積極的に討論を交わし意義ある意見交換会でした。

また、9月21日には、上峰町区長会と次のテーマにより実施しました。

○今後の農工商の一体施策について

○合併について

○自主防災について

○その他

のテーマについて行われました。今回の懇談は二回目であり、区長会側また議員側ともに、会議の運営について、一部発憤する場面もありましたが、比較的円滑に進捗することが出来、双方ともに問題点は今後継続することとなりましたが、全般的には意義ある懇談会となりました。



平成24年度上半期 議長交際費の支出状況

区分	支出金額	支出内容
会費	5,000円	町遺族会懇談会
〃	3,000円	知事・市町議会議長懇談会
御祝	5,000円	町自衛隊父兄会総会
〃	10,000円	上峰町近圏少年剣道錬成大会
献花	15,750円	元 町代表監査委員葬儀
〃	31,500円	現職町議の母葬儀
〃	10,000円	上峰町戦没者慰霊祭
支援金	5,000円	原水爆禁止世界大会
合計	85,250円	

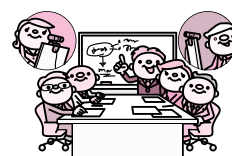
議会傍聴のご案内

議場で行われる町政全般にわたる議論を傍聴してみたいはいかがですか。

町議会の定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）開かれており、12月定例会は12月上旬に開会の予定です。

詳しい日程は町ホームページにてご確認ください。

(<http://www.town.kamimine.lg.jp/>)



いきいき!!

文化協会サークル 紹介

4

九州ハワイアン佐賀地区

上峰フラダンス

今やブームとなったフラダンス。1曲ずつ覚えていくことも楽しみですが、笑顔で踊ることを目標としております。若い女性のダイナミックな動きから、年配の方の、ゆったりとした動きまで様々で、年齢を問わず、決して焦らず、自分の出来る範囲で自由に踊れます。九州ハワイアン佐賀地区

区大会、文化祭の出演のためと、同時にこれからの、介護予防と健康維持にと楽しく稽古しております。私達、フラダンスサークルは月3回、金曜日の午前中に町民センター和室で色鮮やかなドレスを着て、ハワイアンの音楽に合わせて、体を動かし、汗をかくて練習しております。



連絡先 才藤 玲子
☎0952-5216293

デジカメサークル



デジカメサークルは、昨年4月に発足し現在会員は男性2名、女性6名で毎月第4金曜日に活動を行っています。天気の良い日にはみんなで出かけ、季節の移ろいを写真に収めて次の活動日には出来栄を自慢しあったり、撮影の仕方を手ほどき受けたりの交流も笑いの絶えない楽しいサークルです。町の文化祭や、イオン上峰での作品展にも出展しています。



作品を見ていただき、興味を持ったり、感動していただくと写真を撮るのが楽しくなります。皆さんもサークルに入りませんか。もちろん初心者大歓迎です。

連絡先 町民センター
☎0952-5213833

各種行事への参加(7月~9月)

- 7月30日 古川県知事フォアス視察同行
- 8月5日 上峰町近圏少年剣道錬成大会
- 8月11日 上峰町サマーフェスタ
- 8月19日 おたっしや館夏祭り
- 8月22日 上峰町戦没者慰霊祭
- 8月25日 野菊の里ふれあい夏まつり
- 8月29日 県内全議員研修会
- 8月30日 商工会役員との懇談会
- 9月8日 上峰中学校体育大会
- 9月15日 ひかり保育園運動会
- 9月16日 上峰町敬老会
- 9月16日 野菊の里敬老の日式典
- 9月16日 区長会との懇談会
- 9月30日 上峰小学校体育大会



おたっしや館夏祭り

あ と が き

計画停電を心配しつつ、エアコンの節約またクールビズの使用等、体調管理や暑さを心配していた頃に比べると、朝夕はめっきり涼しくなり、爽やかな汗を流し、美味な食べ物に舌つづみする等、絶好の季節がやってきました。

梅雨期においては大雨により、低平地の田んぼは一面海のようになり、作付けたばかりの苗の生育に心配しましたが、就農の方々の努力により、大きな被害にならなかったのも幸いです。夏から秋にかけて、襲来した台風には幸いなことに直撃をうけず、季節はゆつくりと確実に秋に向かい、安堵の昨今です。私たち編集に携わる面々も一層よりを掛け、皆様に一読していただける議会だよりにしてまいりたいと思っております。

議会だより

広報編集委員会
委員長 林 真敏
副委員長 原田 希
委員 碓 勝征
委員 橋本 重雄
委員 寺崎 太彦